

ブーミ・ガーヤत्री・マントラ

グルデーヴ・シッダ・ピートウのミュージックアンサンブルによる朗唱。
© (P) 2021 SYDA Foundation®. 著作権所有。
複製、録音、配布を禁ず。

ブーミ・ガーヤत्री・マントラ

ॐ धनुर्धरायै विद्महे
सर्वसिद्ध्यै च धीमहि।
तन्नो धरा प्रचोदयात्॥

*om dhanurdharāyai vidmahe
sarva-siddhyai ca dhīmahi |
tan no dharā pracodayāt ||*

オーム。私たちが弓を持つ者を知りますように。

私たちがすべてを成し遂げる者について瞑想しますように。

地球が、すべてを支える者が、道を照らして私たちを悟らせてますように。

ブーミ・ガーヤत्री・マントラ:

地球、すべてを支える者へ

マユリ・ストラットナー

「ブーミ・ガーヤत्री・マントラ」は、地球あるいは大地の女神、ブーミ・デーヴィーへの祈りです。ガーヤत्री・マントラ固有の音節の並びは、瞑想への準備として、神の神聖な存在を呼び起こす方法として、そして崇拜の行為として、何千年もの間行われてきた定型表現です。このマントラの力は、実践と学習を通して明らかになります。

ガーヤत्री・マントラは、それを唱える人を浄化し、守り、変容させる力を持っている神聖な音節です。¹ それらは、祈りでもあります。実際、多くのマントラは祈りとして、神聖なる者とつながる手段として理解することができます。シッダ・ヨーガの道におけるマントラの朗唱の修行について力強いと思うことは、私たちが祈っている神聖なる者を、自分の本質そのもの、まさに自身の大いなる自己として認識するよう努めていることです。グルの恩恵によって力を与えられたマントラの効力は音節の中に内在しており、音節が意図を持って発声される時、解き放たれます。ガーヤत्री・マントラを伝統的なヴェーダの旋律やガーヤत्री韻律で歌う時、音の振動はあなたの身体を通り抜けて周りの空間に入り、その詩節でたたえている神のエネルギーを呼び起こします。

世界中の文化で、大地の女神は崇拜の重要な対象として認識されており、肥沃(ひよく)さ、農業、そして豊かさと近い関係にあります。ブーミ・デーヴィーの基本的な姿は、人類の最も古い教典のうち、数々のヴェーダの中で述べられています。そこでは、大地、ブーミは、この物理的創造全体の基礎を形成する五つの基本要素、パンチャ・マハーブータの一つとされています。後に、プラーナはブーミ・デーヴィー、大地の女神に直接言及しており、また、すべての命を支える者として彼女を敬う複数の教典的物語があります。²

シッダ・ヨーガの道では、私たちは全宇宙に浸透する神聖なシャクティを崇拝することによって、母なる地球の恵み深い豊かさと寛容さに対して日頃から感謝をささげています。探究者として、私たちが母なる地球をたたえることができる方法には、自然環境を尊重すること、自然、植物、土地に対する配慮を日常生活に取り入れること、母なる地球を保全すると誓うこと、そしてすべての存在のために保護と平和の祈りをささげることなどがあります。「ブーミ・ガーヤトリー・マントラ」を朗唱する時、私たちはブーミ・デーヴィーの存在を呼び起こしているのです。至高なる女神に直接私たちの愛の祈りをささげることができるのです。このようにして、私たちは私たちの惑星とその上に存在するすべての形の生命につながる体験をすることができます。

このガーヤトリー・マントラは、ブーミ・デーヴィーについて具体的な名前では言及していませんが、それが用いているイメージは、このマントラがまさに地球あるいは大地の女神をたたえていることを語っています。例えば、詩節の最初の行で、私たちは「弓(ダヌ)を持つ者(ダラヤイ)」を知ることを祈ります。伝統的なインドの図像学では、弓は潜在的なエネルギーを表しています。この場合、すべての顕現の根底にある力、神聖なる意識であるチティの純粹で創造的な潜在力を表しています。この弓は、その潜在的なエネルギーが生きる力を与える者であるブーミ・デーヴィーの道具です。

私がサンスクリット語について最も魅力的だと思うのは、すべての単語、つまり動詞や名詞や形容詞が、動詞の語根、いわゆるダートゥから来ている、ということです。しばしばそれぞれの語根は幾つかの異なる意味を持ち、それらは単語の意味にさまざまな考え方を与えます。このように、サンスクリット語は楽しい動きに満ちています。ダヌ(弓)の語根はダンで、「鳴らす」と「素早く動かす」の両方を意味します。³ それはこのガーヤトリー・マントラにもう一つの意味の層を加え、ブーミ・デーヴィーが宇宙を創造し維持する意識の振動であるマントラの性質を帯びていることを示唆しています。従って、この行は祈りを呼び起こすことを意図しています——「私たちが、この宇宙におけるすべての潜在力の源として振動する至高の女神を、私たち自身の内側で認識しますように」と。

このガーヤत्री・マントラの最後の行では、単語ダラが再び現れます。ダラは、「支える者」「保持する者」そして「持つ者」です。これもまた、母なる地球がすべてを支える者であり、この世界の全生命の源であり滋養であることから、ブーミ・デーヴィーがこのマントラの焦点であることを明白に示しています。彼女の恩恵が私たちの道を照らし、真理の知識で私たちを悟らせるようにと祈っているのです。

「ブーミ・ガーヤत्री・マントラ」のこの録音は、インドにあるシッダ・ヨーガ・アーシュラムであるグルデーヴ・シッダ・ピートウで、シッダ・ヨーガのミュージックアンサンブルによって朗唱されています。聴きながら、その旋律と韻律に親しみ、このマントラのみずみずしい音があなたの存在を浄化するままにしてください。この歌の形式が、何千年もの間、インドで生き生きと活力に満ちた修行であったという事実についてよく考えてください。この古代の修行の勢いが、あなたを瞑想に連れて行くのに任せてください。



© 2023 SYDA Foundation®. 著作権所有。

¹Glossary of Siddha Yoga Terminology, Siddha Yoga path website, “Mantra,” accessed April 9, 2021, <https://www.siddhayoga.org/glossary>.

²New World Encyclopedia, s.v. “Bhudevi,” accessed April 9, 2021, <https://www.newworldencyclopedia.org/entry/Bhudevi>.

³Monier-Williams Sanskrit-English Dictionary, s.v. ”dhan,” accessed April 9, 2021, <https://www.sanskrit-lexicon.uni-koeln.de/scans/MWScan/2020/web/webtc/indexcaller.php>.